

親の会（友輝会）

神 示

時代年代に応じた「人生の姿」を知って 日々にちにち歩いていようか

この社会は 運命が重なり 時にぶつかり合って 回っている
この真実を知って

運命を磨くすべを身に付け 生きることが必要

運命は 和のある家庭で磨かれ

神宝かんほうの時時代を迎えて

いよいよ運命に重なる人生が始まってゆく

なれど 真理なき知識を頼って生きる人人間が多く

実体を下げる関わりが

悩み 苦しみ 迷いを生み出している

運命を磨き 高めるため 今今日 親両親としてなすべきことを教えん

夫婦二人で「教え」を学び

「真理」で 親両親 子の触れ合いを深める

何をするにも

家族は互いに思いを語り 重なり 支える気持ちを

大切に生きる

二つの実践 「心」に留めて 日々にちにち歩むなら

家族は それぞれの運命を磨き 高めて

「真実の愛」でつながってゆく

「六つの花びら」咲き誇る

「開運」かなう家庭の姿が ここにある